



高島幼稚園だより

令和 7 年 5 月号
板橋区立高島幼稚園
板橋区高島平 2-1 8-1
TEL 03-3934-5848
園長 井上 朋子

保幼小接続・小中一貫教育「高島なかよし通り学びのエリア」
(高島幼稚園・高島第二小学校・高島第二中学校)

高島幼稚園
ホームページ



50 周年
キャラクター
「たんたん」



一步を踏み出した子どもたちの姿から

園長 井上 朋子

園庭の樹木から新しい芽がぐんぐん伸びている様子を見ると、エネルギーが湧いてきます。新学期が始まり、子どもたちは、保育室や園庭、屋上などで、様々に動き出し始めました。誰かに言われて動くのではなく、自分から全身を使って動いているのです。このことが、人生の中で一番大切なことだと感じています。自分の体や頭を使って、見て、感じて、取り込んで自分の世界や周りの人との世界を作り出していくことが、将来の生きていく力に繋がる大切なことです。

子どもたちは、これからいろいろな経験をしながら多くのことを学んでいきます。その中には、うまく行かないこと、うまくできたと感じたことなど、様々な学びがあります。間違えからこそ、次の成功があるのです。成功することだけやっていては、本当の成功は見つかりません。うまくいかないながらも、一步ずつ歩き出した子どもたちをととても微笑ましく感じます。

子どもたちが遊んでいる様子を学年毎に見てみると…

年少組では、まだお家の人と離れるのが難しい子もいます。教師はその気持ちを受け止めながら、子どもたちがやりたいことを一人一人見極めて遊びの楽しさを知らせていました。園庭に出ると、電車と白い線路がありました。電車にはちょうど子どもが持てるようなループが付いていて、持って走れます。途中で信号があることに気付いた子が赤や青に変えながら遊び始めました。そして、自然に友達との関わりが生まれていきました。

青になったよ！

出発！



落ちたから最初からだね

そうだね！



年中組では、去年のウレタン積み木の経験があり、中型積み木を楽しんでいました。空き箱で作った車を走らせているうちに、スタートやゴールの場所が決まり、落ちたらスタートからやり直しをすることや抜かさないことなど、自分たちでルールを決めながら遊びを進めていました。車が積み木から落ちないように調整して動かしながら、自分たちで遊び方を決めていきます。なんとなく遊んでいるように見えますが、実は、頭の中では様々なことをたくさん考えているのです。

年長組では、巧技台を自分たちで組み立てていました。少し高いですが先生が見守る中で挑戦する姿がありました。また、別の部屋では、グループの友達とこいのぼりを作るという課題に向かう姿がありました。数人で一つの大きなこいのぼりを作っています。先生が仲介しながらグループ一人一人の意見を聞き、話し合っとうろこのデザインを考えています。友達と力を合わせてこいのぼりを作る姿に、年長児らしさを感じました。

子どもたちの発達や時期に応じて、めざす姿は違います。学年毎に教師が適した援助を考えながら、日々子どもたちと向き合っています。未来を創っていく子どもたちを育てていくことを大切に、これからも子どもたちの成長を見守っていきます。



どうする？

赤いきらきらをここに付ける！



いいね！

そうしよう